

【主催】公益財団法人しまね産業振興財団 令和8年度 ITを活用した新事業創出プロジェクト（IT活用事業化伴走支援事業）
5,000社を見てきた専門家が伴走。アイデアを市場で戦える新製品・サービスへ。

事業創出虎の穴

限定
4社
審査あり

伴走支援事業者（株式会社Relic）とITイノベーションセンターが連携し、新規事業創出の初期フェーズにおいて、アイデアの市場性検証や顧客・課題の仮説検証などを伴走型で支援します。5か月間のプログラムを通じて、新たなサービス・製品の事業化可能性を高め、市場・顧客から受け入れられる競争優位性の高い事業創出を目指します。

自社の新事業創出を阻む、こんな課題ありませんか？

- 01 新サービスのアイデアはあるが、事業化までの道筋を描けていない
- 02 顧客課題やニーズを把握するためのリサーチを、どのように進めればよいか分からない
- 03 事業アイデアを客観的な視点で評価・検証してくれる相手がいない

3つの支援メニュー

01 5ヶ月間の伴走支援



月に2回のオンラインミーティングで進捗確認、宿題設定。初回と最終回は現地訪問により経営者、推進担当者と直接議論します。

02 合同ピアラーニング



4社の担当者を集めた集合型研修を行います。他社の検証結果や悩みから学び合い、切磋琢磨します。

03 テーマ別メンター



5,000社以上の事業開発支援実績を持ったRelicの専門家を必要に応じてメンターとして派遣。事業化判断の材料となる検証活動も伴走可能です。

支援内容

本プログラム内での支援範囲

STEP 1



方針策定
2週間程度

STEP 2



アイデア創出
2週間程度

STEP 3



事業検証
3.5ヶ月程度

STEP 4



アクションプラン
2週間程度

STEP 5



開発・事業化

STEP 6



事業拡大

後続支援（助成金等）※審査あり

伴走者

大西 圭佑 氏 株式会社Relic 執行役員 島根支社長

2020年にRelic新卒1期生として入社後、新規事業の戦略・方針策定から具体事業の伴走支援まで一貫通貫で推進。2022年に島根拠点を立ち上げ、自治体と連携した起業エコシステム構築や次世代人材育成に従事。2023年より地方拠点・地域創生プロジェクトの全体責任者を務め、2024年にグローバルイノベーション事業部を設立。同年、Relic歴代最年少で執行役員に就任。現在は18都道府県に展開する拠点網を基盤に、地元企業・金融機関・教育機関との共創を通じた新規事業開発、老舗事業の承継、地方の資金調達環境の確立など、各地域の課題解決と産業創造を第一線で推進している。

応募方法・締め切り

申込み締切：令和8年8月28日(金) 12:00まで

申し込みに必要な書類や応募条件等がございますので、詳細は事業ホームページをご覧ください。

<https://www.s-itoc.jp/support/business-support/nb-experts/bansou2026>



作る前に、確かめる。新規事業成功の第一歩。

伴走支援事業

「事業創出虎の穴」 募集説明会 & トークセッション



モルツウェル株式会社
野津 積 氏



株式会社Relic
大西 圭佑 氏

ITを活用した新たなサービス・製品の開発を検討している企業の皆さまを対象に、事業創出の初期フェーズを5か月間伴走支援する「事業創出虎の穴」の募集説明会を開催します。事業の概要や支援内容、応募方法をご紹介するとともに、先行事例としてモルツウェル株式会社様の取り組みをご紹介します。新たな事業の柱づくりに挑戦したい企業の皆さまは、ぜひご参加ください。

- ✓ 参加費無料
- ✓ 入退場自由

プログラム説明会

令和8年

7月22日 水

テクノアークしまね1階 中会議室

島根県松江市北陵町1

15:00 ~ 17:00 (14:30 開場)

途中入退室可能

<https://www.s-itoc.jp/support/business-support/nb-experts/bansou2026pr>

参加予約・詳細は
こちらから



14:30 - 15:00	開場・受付開始
15:00 - 15:15	イントロダクション
15:15 - 15:50	トークセッション (先行事例紹介)
15:50 - 16:05	応募に向けた説明
16:05 - 17:00	個別相談会 (自由解散)

※タイムスケジュールは変更になる可能性があります。

トークセッション内容

高齢者施設向け食品製造業を営むモルツウェル社が、自社の現場課題から厨房DXを支える総合支援システム「MAPS®」を自ら開発・展開するに至った挑戦を伺います。

なぜその一歩に踏み出したのかという背景に始まり、開発や事業化の過程で直面した苦労、それをどう乗り越えてきたのかまで、リアルな実体験を掘り下げます。現場発の課題解決を事業へ育てるヒントが詰まったセッションです。

モルツウェル株式会社

島根県松江市を拠点に、「ふるさと守り」を掲げ、「食」を通して全国の地域生活を支える企業。主力事業は高齢者施設向けの真空調理済み食材ブランド「楽盛」の製造販売で、北海道から九州まで全国約450施設へ毎日約3万食を届けている。あわせて厨房DXによる施設運営支援、在宅高齢者への配食やドローン配食の実証実験、買い物弱者支援など、超少子高齢化社会の課題解決にも挑戦。2024年には「日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞」を受賞。



ゲスト登壇者

モルツウェル株式会社 代表取締役 野津 積 氏



法務省公安調査庁からホテルマンを経て、持ち帰り弁当ほっかほっか亭FCジーで起業。温かいお弁当のデリバリーを日本で初めて開発導入。売上高日本一(1998年)その後、市場は高齢者へ移ると予見し、在宅高齢者配食サービスへ。さらに、高齢者施設厨房向け調理済み食材の製造販売へ進出。現在、北海道から鹿児島まで400を超える介護施設へ年間1,000万食を提供している。3.11東日本大震災への食材義援をする中で「物流の衰退消滅はふるさとの衰退消滅と同義である」ことに気づき、「止まらない物流」の構築を目指した「ふるさと守り」を決意。在宅配食、買い物弱者支援、シェア物流、ドローン物流など、持続可能な地域づくりに向け挑戦を続けている。